

特別活動

令和7年度 授業改善のポイント

※次に示すポイントは、学級活動の内容（２）、（３）に関するものです。

- 1 自分に合った具体的な実践目標や解決方法を意思決定することができるよう、専門的知識を有する人材、地域人材、教師等から得た情報を生かして話し合う活動を設定する。
- 2 意思決定したことを基に期間を決めて実践させ、今後の生活の仕方を意識できるよう、実践意欲の継続及び目標の見直しを図るための振り返りの場を定期的に設定する。

自己の生き方について考えを深める学級活動（３）の指導過程の工夫

【指導事例】「人は何のために働くのか」（中学校第1学年）学級活動（３）イ

<ねらい> 身近な大人の勤労観・職業観に触れるとともに、働く目的や意義について話し合うことで、自分の将来を意識しながら、今取り組めることを意思決定できるようにする。



【事前の活動】

- 「働いている人に聞いてみたいこと」を記入及び集約し、共通のインタビュー項目を決める。
- 長期休業等を利用して「就業のきっかけ」「働く目的」「やりがい」「必要な力」等について、家族や親戚等の身近な大人にインタビューをする。

重要 題材に関わる学級の現状及び生徒一人一人の思いを把握するアンケート調査をしたり、身近な大人へのインタビューに取り組んだりするなどして問題意識を高めるようにします。

【本時の主な活動】<生徒の活動、話し合いの場面等>

- 1 類似した職種ごとに班を構成し、インタビューから分かったことを紹介し合い、共通点等についてまとめる。
- 2 各班でまとめたことを全体で共有する。
- 3 身近な大人の勤労観や職業観等について気付いたことを班で話し合う。

<社会に必要な力>
●「医療・看護・保健」班まとめ
・コミュニケーション力
・チームで取り組む力
・責任感 など

<働く上で大切にしたいこと>
●全体まとめ(各班より)
・家族を養うための給料
・時間の保障
・やりがい など

私は看護師の仕事に興味をもっています。仕事内容が大変でも「やりがい」のある職業に就きたいな。



叔母が「看護師は仕事で様々な人と話す機会があるから『コミュニケーション力』が必要」と言ってたよ。



僕の父も「どんな職業でも、仕事をしていれば、人と関わる場面は必ずある」と話していたから、やっぱり「コミュニケーション力」って大切なんだな。



- 4 話し合ったことを生かし、なりたい自分に向けて伸ばしたいことや取り組むこと（実践方法）をまとめ、発表する。

将来就きたい職業はまだ決めていませんが、どの職業も「コミュニケーション力」が大切だと思いました。まずは、相手に対して自分から進んで声を掛けるようにしていきたいです。



- 5 活動4を踏まえ、将来の夢や希望に向かって、これからの学校生活で取り組みたいことについて意思決定し、学級活動シートにまとめる。

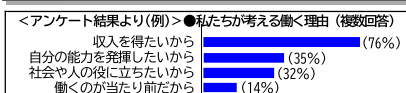
<学級活動シートの記述内容（例）>

①誰とでもコミュニケーションを取れる人になりたい。 ②自分から挨拶をしたり、困っている人に話し掛けたりする。 ③チームで仕事をする際にコミュニケーションが欠かせないという話を聞き、身に付ける必要があると思ったから。



ICT 事前にICTを活用してインタビュー内容についてまとめる活動を設定し、調べた内容を班内で発表して意見交流したり、班でまとめた共通点等を全体の場で紹介したりできるようにすると効果的です。

ポイント1 話し合いを行う際に、本時の活動に関連する情報を提示したり、勤労観・職業観の形成に必要な視点を示したりすることで、一人一人が実態に合った実践方法を見付けることができるようにします。



重要 「①将来の職業を考え、どのような人になりたいか」「②そのために何に取り組むか」「③そう考えた理由」の視点を踏まえて意思決定することで、目的意識をもって実践できるようにします。

【事後の活動】

- 意思決定したことを基に1週間程度の期間を決めて実践する。
- 実践したことを振り返り、必要に応じて目標や取組の見直しを図りながら、継続して取り組む。
- 使用した学級活動シートを「秋田わか杉『キャリアノート』」に貼付して次の取組に生かす。

ポイント2 帰りの会等で取組状況を振り返り、互いに紹介し合ったり、教師が認め励ましたりすることで、生徒の自己効力感や自己肯定感を育み、次の課題解決への意欲につなげるようにします。

重要 特別活動は、「なすことによって学ぶ」ことを方法原理としており、一連の学習過程の中で、決めたことを実践し、振り返って次に生かす取組を積み重ねることが大切です。